

計画事業番号	00285	事務事業名	スポーツ少年団育成事業	担当部署	教育部社会教育課	電話	890
--------	-------	-------	-------------	------	----------	----	-----

【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	根拠法令等	北広島市スポーツ少年団本部補助金交付要綱				
事務事業開始年度	昭和61年度	個別計画等	北広島市教育基本計画 2011-2020				
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 2 章) 人と文化を育むまち						
	(第 8 節) スポーツ活動の推進						
	(施策 2) 競技スポーツの振興						
2 対象	北広島市スポーツ少年団本部						
3 目的と内容	青少年の健全育成やスポーツ少年団の組織強化と自主的な活動の推進のため、スポーツ少年団の運営費及び事業費に対し、スポーツ少年団本部を通じて補助金を交付する。						
4 実施内容 (手段)	27年度まで	スポーツ少年団に補助金を交付した。					
	28年度	昨年度と同様であるが、スポーツ少年団に補助金を交付する。					

【事業の計画・実績】

平成27年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度
計画	実績	計画	計画	計画
スポーツ少年団本部に助成	スポーツ少年団本部事業への支援 スポーツ少年団28団体に対する助成	スポーツ少年団本部に助成	スポーツ少年団本部に助成	スポーツ少年団本部に助成

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成29年度に向けた具体的な方向性	評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。	
1次評価	現状継続	現状継続とする。	
2次評価	現状継続	現状継続とする。	

「拡大」
「現状継続」
「要検討」
「見直し」
「統合」
「休止・廃止」
「終了」

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
決算額、当初予算額又は推進計画額			453	453	453	453
事業額	直接事業費	国支出金	0	0	0	0
		道支出金	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		その他特財	0	453	0	0
		一般財源	453	0	453	453
		① 合計	453	453	453	453
	人件費	② 人数(年間)	0.20	0.20	0.20	0.20
		③ 1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
		④ =②×③	1,800	1,800	1,800	1,800
総事業費①+④			2,253	2,253	2,253	2,253

【評価指標】

指標名		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	①加盟団体数	団体	28	28	28	28
		目標値				
		実績値	28			
	②	目標値				
	実績値					
	③	目標値				
	実績値					
	④	目標値				
	実績値					
成果指標	①加盟団体率	%	100	100	100	100
	【指標の定義(算式等)】		100			
	②	目標値				
	【指標の定義(算式等)】	人				
	③	目標値				
	【指標の定義(算式等)】	実績値				

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	青少年の健全育成及びスポーツ振興を図る上で、スポーツ少年団の担う役割は大きく、行政が支援することは妥当である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	2	少子化の影響もあり、団員数は微減状況ではあるが、全道的には減少率は低く概ね成果を上げている。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	スポーツ少年団活動の意義やスポーツに親しむ機会の提供など、本部としての積極的な活動などが必要である。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	事業運営に伴いコスト削減は困難である。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	---	---

付 表

補助金・交付金 交付先団体等の状況説明書

計画事業番号 285

<継続用>

【交付先団体等の概要】

補助金・交付金名	北広島市スポーツ少年団本部補助金		
交付先の名称及び代表者名	北広島市スポーツ少年団本部	設立年	昭和56年
構成員(団体)数	28団体	(28年3月末現在)	
交付先団体等の活動目的	青少年の健全育成を図ることを目的に、スポーツ少年団の組織強化と自主的な活動の推進のため、スポーツ少年団の運営費及び事業費に対し、スポーツ少年団本部を通じて補助金を交付する。		
交付先団体等の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・少年団本部の運営費及び28団体の事業費へ補助金交付 ・少年団本部事業の実施(チャレンジビックなど) ・管内スポーツ少年団関連事業(リーダー研修会、少年団交流会、指導者養成講習会) ・加盟団体による協議会の実施 		
事務局の状況(27年度)	<input checked="" type="checkbox"/> 補助団体にある <input type="checkbox"/> 市役所にある		
補助金等の充当状況(27年度)	<input type="checkbox"/> 運営費のみに充当 <input type="checkbox"/> 事業費のみに充当 <input checked="" type="checkbox"/> 運営費・事業費の双方に充当		

【交付先団体等の決算・予算の状況】

(単位：千円)

	区 分	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)	備 考
収 入	本市補助・交付金の額(A)	453	453	453	
	事業収益金	58	61	50	
	本部登録料	72	74	70	
	管内協議会補助金	20	20	20	
	その他			1	
	繰越金	106	130	68	
	収 入 合 計(B)	709	738	662	
支 出	事業費	193	251	270	
	団体基底活動費	140	140	140	
	活動交付金	145	148	140	
	管内協議会負担金	30	30	31	
	維持管理費	35	35	35	
	事務局費等	22	28	28	
	会議費・予備費	14	38	18	
	支 出 合 計(C)	579	670	662	
繰越金	収入(B) - 支出(C)	130	68	0	
全体支出に対する本市補助・交付金の割合(A)÷(C)		78 %	68 %	68 %	
補助・交付金の対象経費(項目)		報償費、需用費、役務費、補助金等	報償費、需用費、役務費、補助金等	報償費、需用費、役務費、補助金等	
補助・交付金の対象経費(金額)(D)		458	535	458	
対象経費に対する補助または交付金の割合(A)÷(D)		99 %	85 %	99 %	
補助・交付金の算出根拠		定額補助			